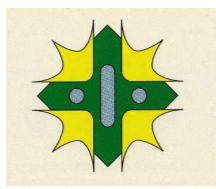


城北



学校だより 6月号

発行：平成30年5月31日

八戸市立城北小学校

運動会での自信を次の学習や活動へ

校長 中野 聡

「あきらめず 限界をこえろ 優勝へ」をスローガンとした本校大運動会が5月26日に、多くの感動とともにおかげさまで無事終了いたしました。今年5月は、例年よりも寒暖の差が大きく、最高気温30.2℃を記録した日があったかと思えば、最高気温が10℃に届かない日が続いたり、5月に運動会開催の学校はどこも当日の天候を心配してきました。そんな中で、本校は、早朝からほとんど雲一つなく青空が広がり、子どもたちにとっては、最高のコンディションの中で運動会を開催することができました。来賓の皆様、保護者の皆様、地域の皆様にたくさんの温かいご声援をいただいたことも、子どもたちが競技をする上で大きな力となりました。ありがとうございました。

今年度の大運動会は、白組515点、赤組505点、青組469点で白組の優勝となりましたが、前半は、赤組がリードして、青組、白組と続き、白組は後半で巻き返して逆転での優勝を勝ち取りました。そして、どの組も諦めず最後まで気持ちのこもった競技を見せてくれました。

運動会には、必ず勝ち負けはありますが、閉会式での子どもたちの表情には、運動会スローガンを目指して、諦めず最後まで自分の力を出し切ったという達成感、充実感が感じられました。仲間と協力し合って支え合って優勝を目指したという満足感もあったことでしょうか。応援や係の仕事についても、精一杯取り組んだという満足感もあったことでしょうか。運動会という大きな目標に向かって努力したことは、子どもたち一人一人の力を高めたり、体や心を成長させたりすることにつながったはずで、運動会という大きな行事をやり遂げたということに自信をもたせたいと思います。子どもたちの真剣に取り組む姿が運動会の感動をつくり上げたことに、自信をもたせたいと思います。

いよいよ6月に入ります。社会科見学、宿泊学習、修学旅行など、校外での行事を控えている学年もあります。夏休み前までの期間、どの学年も学習活動を充実させていきます。委員会活動で働く場面も充実していくことと思います。部活動にも、さらに力を入れて打ち込んでいくことと思います。運動会という大きな行事に向かって諦めずに最後まで自分の力を出し切った経験の中で、一人一人の子どもたちが自分に自信をもてるようになってきたはずで、その自信を次の学習や活動につなげることができれば、さらに飛躍が期待できると思います。諦めずに努力して取り組んだり、役割を果たしたりしたことを認められれば自信がつき自尊心や自己肯定感を高めることにつながります。「努力したことをほめる、認める」「集団の一員としての役割をもたせる」「よさをみつける」などのことは、学校においても、家庭においても、大人が心がけていきたい大事なことだと思えます。よろしくお祈りいたします。



「夏季における軽装」実施中

八戸市では、夏季における執務の効率化を図り、省エネルギー化に寄与するため、今年も「夏季における軽装」を実施しています。実施期間は、5月14日～9月30日となっています。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

教育活動の紹介



『あきらめず 限界をこえろ 優勝へ』のスローガンのもと、子どもたちは精一杯運動会に城北魂を込めました。1年生にとって、初めての運動会。一人一人が、力を合わせ最後までがんばり、6年生にとっては、小学校生活最後の運動会でした。競技や係の仕事を熱心に行いました。その一生懸命な姿に感動しました。場所取り、駐車場に関するトラブルもありませんでした。平成最後の運動会は、白組の逆転優勝で幕を閉じました。

6月の行事予定



6月1日	金	四つ葉のクローバー集会
3日	日	P T A プール清掃
4日	月	手作り弁当の日
5日	火	全校朝会（リトル JUMP チーム委嘱状交付式）委員会活動
6日	水	会議日
8日	金	4年社会科見学
11日	月	5年宿泊学習 学費口座振替日
12日	火	5年宿泊学習 音楽朝会 クラブ・委員会なし 6時間学習
13日	水	会議日
14日	木	1年心電図検査 6年下長中見学（壮行式）
15日	金	5・6年耳鼻科検診
18日	月	新体力テスト週間～22日
19日	火	児童朝会（プール開き） 3・4年耳鼻科検診 クラブ活動
20日	水	会議日
21日	木	1・2年耳鼻科検診
22日	金	参観日 5時間学習 P T A 救命救急講習会
26日	火	音読朝会 委員会 5年脊柱側弯症検査
27日	水	6年修学旅行 会議なし
28日	木	6年修学旅行
29日	金	6年修学旅行

お忘れなく！

「町内会」って何？…近頃は、保護者の中でも町内会に入らない家庭が増えてきたと聞き

ます。大人同士のコミュニケーション不足が、子どもたちに様々な影響を与えていることも懸念されています。「必要感を感じなくなった」「親世代からなんとなく入っている」といった家庭もあるようです。

町内会はこんな活動をしています！… ごみステーションの維持管理、街路灯の維持管理、地域の美化活動、交通安全運動、青少年の健全育成、子ども会活動、防犯活動の推進、お祭り、盆踊り、運動会等々…

災害の時は…困った時は…遠い親戚より近くの他人！
長野県の地震でも対応に「コミュニティ」の大切さが見直されています。

